

質問・意見	
桶土井委員	<p>議事（１）住吉区における主な教育・子育て関連事業について  3－2 こどもの将来のライフプラン支援事業について、令和4年度末で終了とのこと。理由として次年度より各学校において性教育を実施していくとありますが、学校の「働き方改革」やさらに教職員の負担がかかることで、同等の「性・生教育」授業ができるのか心配です。</p> <p>また、区の支援事業としては、数少ない直接子どもに働きかける「性・生教育」授業はとても貴重だと思う。子どもたち自身の心と身体を守ることにもつながります。”問題のない子”がそうならないための事業があってもいいと思います。</p>
回答	
	<p>こどもの将来のライフプラン支援事業につきましては、各学校で高い評価をいただき、積極的に活用していただいていたましたが、事業開始後5年経過し、各学校が進める「性・生教育」を促進する目的が一定達成されたこと、今後は教育委員会作成の「生きる力を育む『性に関する指導』の手引き」に基づき各学校において性教育を実施していくことから、事業を終了させていただきました。</p> <p>なお、同事業の委託事業者である「大阪府助産師会」から、今後も各学校が利用しやすい条件で、これまでと同じ内容を「出前講座」として提供したいとの申し出があり、協議の上整理した内容や利用手順等を各学校にご説明し、ご理解いただいたところです。また、赤ちゃん人形や妊婦体験ジャケットの貸し出しなどのサポートは今後も行っています。</p>